

9.4 PPA活用など再エネ価格低減等を通じた地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業
 〈ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業エコリース促進補助事業〉

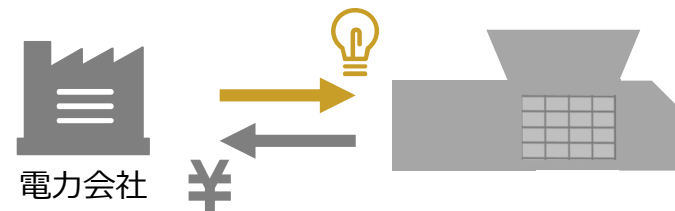
① 太陽光発電設備の新設による製造コストの削減及び防災体制の向上

事業概要

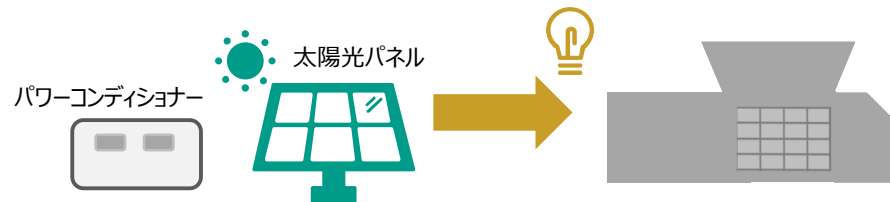
事業者概要	事業者名	フジオーゼックス 株式会社
	業種	製造業（輸送機器）
事業所	所在地	静岡県
	総延床面積	22,344m ²
補助金額	補助金額	約3,674万円
	補助率	100%
主な導入設備	従前設備	-
	導入設備	太陽光発電設備
事業期間	稼働日	2022年2月
区分		新設
特長		太陽光発電設備を新設したことにより、電力費が削減でき、製造コストの削減につながった。停電時でも太陽光発電から100vの電源供給が可能となった。

システム図

実施前



実施後



写真

太陽光パネル



パワーコンディショナー



9.4 PPA活用など再エネ価格低減等を通じた地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業
 〈ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業エコリース促進補助事業〉

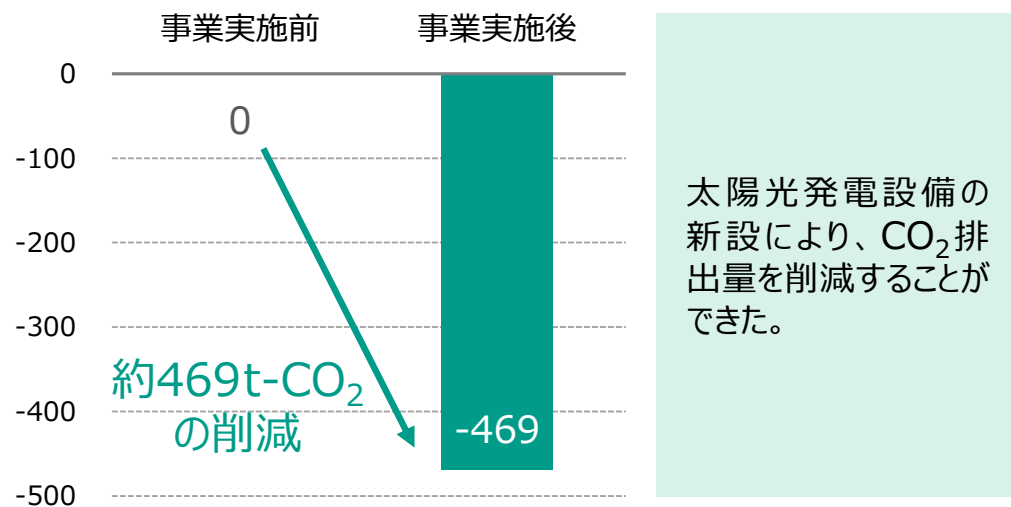
①太陽光発電設備の新設による製造コストの削減及び防災体制の向上

事業の効果

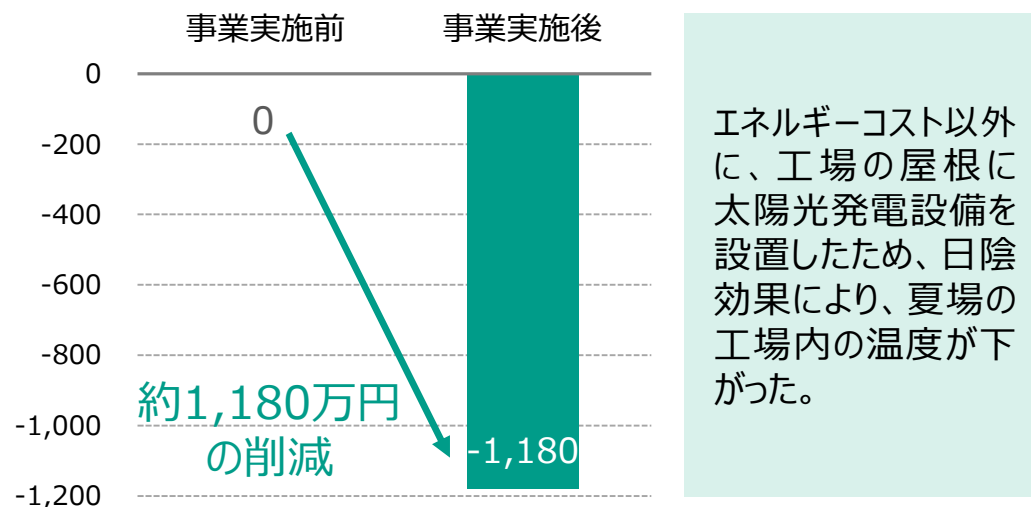
エネルギーコスト削減額		約1,180万円／年
投資回収年数	補助あり	約5年
	補助なし	約9年

CO ₂ 削減量	約469t-CO ₂ ／年
CO ₂ 削減コスト	4,604円／t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂／年)



エネルギーコスト (万円／年)



【脚注】
 ※ ここに示す事業の効果は、電力単価：11.8円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

① 太陽光発電設備の新設による製造コストの削減及び防災体制の向上

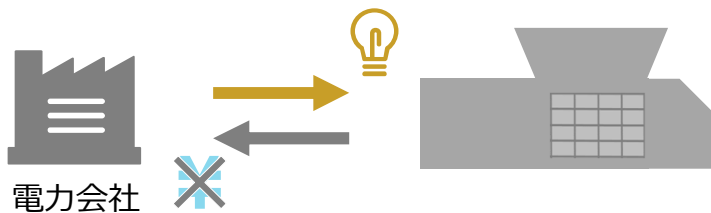
事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 太陽光発電設備の導入によって、CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

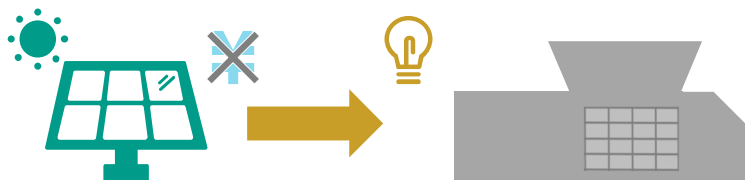
- ・ 自家消費の太陽光発電を導入したため、設備導入前に比べて、電力費が削減されたため製造コストの削減につながった。
- ・ 停電時でも、100vの電源供給が可能となり、災害時の体制向上につながった。
- ・ 工場の屋根に太陽光発電設備を設置したため、日陰効果によって、夏場の工場内の温度が下がった。

設備新設による省力化

実施前 買電による電力供給



実施後 太陽光発電による電力供給



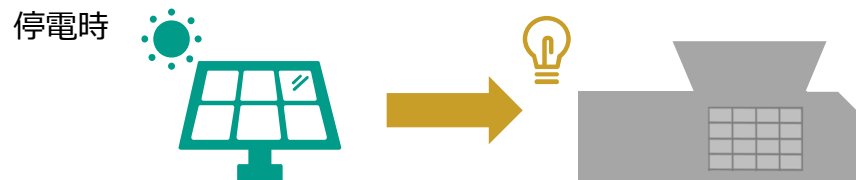
太陽光発電設備新設により、**製造コストが削減**した。

停電時でも電源供給が可能

実施前 停電時には電源供給は不可能



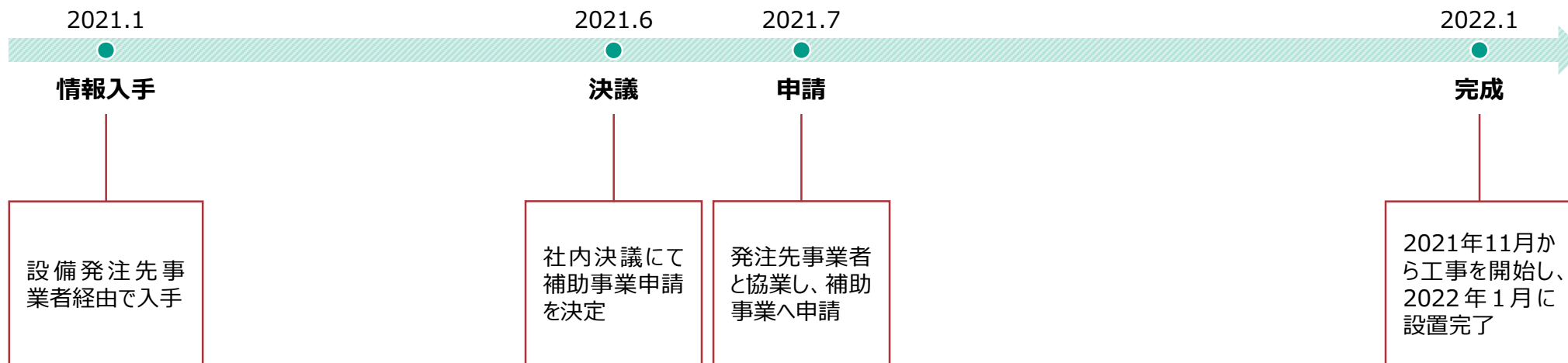
実施後 停電時でも電源供給が可能



太陽光発電設備新設により、停電時の**電源供給が実現**した。

①太陽光発電設備の新設による製造コストの削減及び防災体制の向上

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



担当者

- 弊社では2050年カーボンニュートラルなグリーン社会の実現に向け、CO₂排出量を2023年度までに20%、2030年度までに50%低減することを目標に掲げており、海外含めた全拠点で、太陽光発電を主体とした再生可能エネルギー導入を推し進めようとしております。
- 本事業により設置された太陽光発電設備は、CO₂削減目標達成のために大きく寄与しただけでなく、設置された太陽光パネルの画像をホームページに掲載することで、SDGsへの貢献を対外的にアピールすることに役立てられています。